



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日
東

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 茂之
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部長 (氏名) 川村 勉 (TEL) 03-6731-5842
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	174,598	4.0	16,321	△9.9	18,702	△11.0	17,323	30.1
2025年3月期第3四半期	167,955	12.2	18,114	340.6	21,003	181.1	13,312	370.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 29,689百万円(119.9%) 2025年3月期第3四半期 13,502百万円(5.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	112.39	112.38
2025年3月期第3四半期	81.02	81.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	405,977	274,087	67.2
2025年3月期	373,708	268,520	71.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 273,012百万円 2025年3月期 267,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.50	—	37.50	60.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	239,800	7.7	21,300	4.4	20,900	△6.1	20,400	16.5	133.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	160,000,000株	2025年3月期	165,003,570株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	9,847,254株	2025年3月期	5,117,318株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	154,142,125株	2025年3月期3Q	164,312,092株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2026年2月2日(月)に証券アナリスト及び機関投資家向けにテレフォンカンファレンスを開催する予定であります。使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年12月31日まで)の世界経済は、底堅い成長を維持しているものの、米国による関税政策やその他地政学的なリスクなど、不透明感が続いています。

このような状況の中、当社グループは2022年度より開始した中期事業計画“**KAYAKU Vision 2025**”が最終年度に入り、引き続き事業ごとに定めた「ありたい姿=Vision」の実現に向け、全社重要課題への取組みを進めています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はファインケミカルズ事業領域が前年同四半期を下回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域及びライフサイエンス事業領域が前年同四半期を上回ったことにより、1,745億9千8百万円となり、前年同四半期に比べ66億4千3百万円(4.0%)増加しました。

営業利益はライフサイエンス事業領域が前年同四半期を上回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域及びファインケミカルズ事業領域が前年同四半期を下回ったことにより、163億2千1百万円となり、前年同四半期に比べ17億9千3百万円(9.9%)減少しました。

経常利益は187億2百万円となり、前年同四半期に比べ23億円(11.0%)減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益等により、173億2千3百万円となり、前年同四半期に比べ40億1千1百万円(30.1%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(モビリティ&イメージング事業領域)

売上高は704億4千万円となり、前年同四半期に比べ11億4千7百万円(1.7%)増加しました。

セイフティシステムズ事業は、国内は自動車の型式認証不正問題による生産・出荷停止の影響が解消し、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは前年同四半期を上回りましたが、エアバッグ用インフレーターは搭載車種の生産終了等もあり前年同四半期を下回りました。海外はエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ及びスクイブが前期に引き続き中国市場向けが順調に推移し、前年同四半期を上回りました。この結果、セイフティシステムズ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

ポラテクノ事業は、ヘッドアップディスプレイ用遮光板が伸長したものの、液晶プロジェクター用部材が前年同四半期を下回りました。X線分析装置用部材は主要顧客の在庫調整を受け、前年同四半期を下回りました。この結果、ポラテクノ事業全体では前年同四半期を下回りました。

セグメント利益はポラテクノ事業の売上高減少に加え、セイフティシステムズ事業の為替変動を含めた原材料高騰を受け79億円となり、前年同四半期に比べ29億1千4百万円(26.9%)減少しました。

(ファインケミカルズ事業領域)

売上高は500億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ4億4千3百万円(0.9%)減少しました。

機能性材料事業は、AI・ハイエンドサーバをはじめとした先端分野の半導体市況の拡大に加え、汎用分野の半導体市況も回復基調にあったことから、各製品群が堅調に推移し、機能性材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、感熱顔色剤が主に米国市場の規制強化を背景としたノンフェノール化により堅調に推移し、新製品の二色性色素の販売を開始したものの、コンシューマインクジェットプリンタ用色素が前年同四半期を下回ったため、色素材料事業全体で前年同四半期を下回りました。

触媒事業は前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は色素材料事業及び触媒事業の売上高が減少したことにより、70億1千7百万円となり、前年同四半期に比べ9億6千5百万円(12.1%)減少しました。

(ライフサイエンス事業領域)

売上高は540億7千3百万円となり、前年同四半期に比べ59億3千8百万円(12.3%)増加しました。

医薬事業の国内向け製剤は、新薬抗悪性腫瘍剤「イブトロジー®」及びジェネリック医薬品「アビラテロン酢酸エステル錠」を新発売しました。また、抗体バイオシミラー「ベバシズマブBS」、「アダリムマブBS」の市

場浸透が進み、医薬事業全体で前年同四半期を上回りました。

アグロ事業の国内向け販売は堅調に推移し、海外向け販売ではフロメトキン剤の受注が大きく伸長したことにより、アグロ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

不動産事業は、前年同四半期並みとなりました。

セグメント利益は87億6百万円となり、前年同四半期に比べ26億8千6百万円(44.6%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は4,059億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ322億6千8百万円増加しました。主な増加は、商品及び製品98億6千5百万円、原材料及び貯蔵品87億9千7百万円、機械装置及び運搬具(純額)55億4千7百万円、建物及び構築物(純額)41億4千6百万円、投資その他の資産のその他41億6百万円、受取手形及び売掛金38億6千7百万円、電子記録債権30億8千7百万円であり、主な減少は、現金及び預金46億3千6百万円、投資有価証券32億6千5百万円であります。

負債は1,318億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ267億1百万円増加しました。主な増加は、支払手形及び買掛金107億3千9百万円、長期借入金73億9千万円、短期借入金38億1百万円、未払法人税等31億5千4百万円であります。

純資産は2,740億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億6千7百万円増加しました。主な増加は、為替換算調整勘定129億3千5百万円であり、主な減少は自己株式70億3千8百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、緩やかな回復基調が続くと見込まれる一方で、地政学リスク、為替変動リスク、関税リスクに加え、日中関係の変化に伴う貿易・サプライチェーンへの影響などにより、景気の下振れが懸念されます。

このような状況下において、当社グループは事業環境の変化に柔軟かつ機動的に対応し、株主価値の向上を目指して経営資本の最適化を推進するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、当連結会計年度の業績予想につきましては、2025年11月11日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,425	50,788
受取手形及び売掛金	63,112	66,979
電子記録債権	1,529	4,616
有価証券	4,337	4,273
商品及び製品	44,917	54,783
仕掛品	1,397	1,184
原材料及び貯蔵品	25,227	34,025
その他	11,075	10,962
貸倒引当金	△229	△134
流動資産合計	206,794	227,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,231	52,377
機械装置及び運搬具（純額）	26,252	31,800
その他（純額）	34,834	35,829
有形固定資産合計	109,317	120,007
無形固定資産		
のれん	640	535
その他	3,411	3,294
無形固定資産合計	4,051	3,829
投資その他の資産		
投資有価証券	35,393	32,127
退職給付に係る資産	11,032	11,306
その他	7,168	11,275
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	53,544	54,660
固定資産合計	166,914	178,497
資産合計	373,708	405,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,869	30,609
短期借入金	7,212	11,013
未払金	18,797	20,753
未払法人税等	1,492	4,646
その他	8,234	7,751
流動負債合計	55,606	74,775
固定負債		
社債	14,000	14,000
長期借入金	20,884	28,274
退職給付に係る負債	434	352
その他	14,263	14,487
固定負債合計	49,581	57,114
負債合計	105,188	131,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	15,861	15,873
利益剰余金	202,714	203,005
自己株式	△6,527	△13,566
株主資本合計	226,981	220,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,374	11,725
為替換算調整勘定	23,422	36,357
退職給付に係る調整累計額	4,749	4,684
その他の包括利益累計額合計	40,546	52,767
非支配株主持分	992	1,074
純資産合計	268,520	274,087
負債純資産合計	373,708	405,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	167,955	174,598
売上原価	113,776	122,337
売上総利益	54,178	52,261
販売費及び一般管理費	36,063	35,939
営業利益	18,114	16,321
営業外収益		
受取利息	686	422
受取配当金	966	868
持分法による投資利益	3	212
為替差益	1,151	955
その他	676	766
営業外収益合計	3,484	3,225
営業外費用		
支払利息	197	427
その他	397	416
営業外費用合計	595	843
経常利益	21,003	18,702
特別利益		
固定資産売却益	6	78
関係会社清算益	-	118
投資有価証券売却益	1,056	6,251
特別利益合計	1,063	6,449
特別損失		
固定資産処分損	666	630
投資有価証券評価損	2,330	0
特別退職金	158	98
特別損失合計	3,154	729
税金等調整前四半期純利益	18,912	24,422
法人税、住民税及び事業税	5,093	6,264
法人税等調整額	450	770
法人税等合計	5,544	7,035
四半期純利益	13,368	17,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,312	17,323

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	13,368	17,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,200	△649
為替換算調整勘定	1,497	13,016
退職給付に係る調整額	△166	△66
持分法適用会社に対する持分相当額	3	2
その他の包括利益合計	134	12,302
四半期包括利益	13,502	29,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,402	29,544
非支配株主に係る四半期包括利益	100	144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

① 自己株式の取得

当社は、2024年11月11日及び2025年3月28日の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式9,855,000株を13,644百万円で取得しました。

② 自己株式の消却

当社は、2025年5月13日の取締役会決議に基づき、2025年5月23日付で自己株式5,003,570株の消却を行いました。これにより、その他利益剰余金6,446百万円、自己株式が6,446百万円減少しております。

③ 自己株式の処分

当社は、2025年6月26日の取締役会決議に基づき、2025年7月18日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式84,307株の処分を行いました。また、8月26日の取締役会決議に基づき、2025年10月17日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式38,200株の処分を行いました。これらにより、その他利益剰余金が2百万円増加し、自己株式が159百万円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の利益剰余金が203,005百万円、自己株式が13,566百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	モビリティ&イメージング事業領域	ファインケミカルズ事業領域	ライフサイエンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,292	50,527	48,134	167,955	—	167,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	141	0	141	△141	—
計	69,292	50,669	48,134	168,096	△141	167,955
セグメント利益	10,814	7,983	6,020	24,818	△6,703	18,114

(注)1 セグメント利益の調整額△6,703百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,620百万円及びセグメント間取引消去△83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	モビリティ&イメージング事業領域	ファインケミカルズ事業領域	ライフサイエンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,440	50,084	54,073	174,598	—	174,598
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	107	0	134	△134	—
計	70,468	50,191	54,073	174,733	△134	174,598
セグメント利益	7,900	7,017	8,706	23,624	△7,302	16,321

(注)1 セグメント利益の調整額△7,302百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,249百万円及びセグメント間取引消去△53百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
減価償却費	10,222	11,441
のれんの償却額	106	106